



JINshinbun

2023年 4月号 35号



スタッフの皆さん、お疲れ様です。
暖かくなりましたね。日本で一番美しい季節の春を迎え、あちらこちらで桜の花が満開です。
日本には《お花見》という古くからの風習があります。桜の花の下で食べたり飲んだり、
春が来たことを喜び祝う風習です。
コロナ禍で自粛されていましたが、今年は制限も緩和されておりお花見宴会もできそうですね。
ルールを守ってお花見を楽しみましょう。



マスクの着用は個人の判断が基本

ただし、事業者の判断でマスクの着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります。

また、咳などの症状がある時や同居の家族が陽性の場合にはマスクの着用を推奨します。

コロナウイルスはなくなつてはいませんが、インフルエンザに感染する心配もあります。換気や手洗い、消毒などの感染対策は忘れずに！



新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患など

基礎疾患を有する方

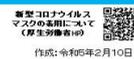
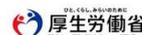


妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります



新型コロナウイルス
マスクの着用について
(厚生労働省発行)
作成：令和5年2月10日

STOP!

防ごう！ 転倒災害



きけん



※転倒しないためのポイント

☆転倒しにくい作業方法

～あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて～
時間に余裕をもって行動

☆設備管理面の対策

歩行場所に物を放置しない
床面の汚れを取り除く
床面の段差の解消

☆その他の対策

転ばない体づくり
作業に適した靴の着用

☆歩き方を見直そう！

すり足で歩を進めると歩幅が狭くなり、転倒しやすくなります。
普段よりも一歩前に足を出すことを意識して歩幅を広げ、つま先で地面をけり、かかとから着地して歩くようにしましょう。

日頃から筋力アップに努めましょう。

身体機能の維持・向上

例えば毎日、スクワット運動をするなど



STOP! 転倒災害

! 3つの転倒予防

アウト

転倒による労働災害は最も多く、全体の約**25%**

転倒によるケガの約**6割**が休業**1**か月以上のケガです!!

1 作業場所の 整理整頓



2 作業場所の 清掃



3 毎日の 運動



▶ 転倒災害は、**大きく3種類**に分けられます。

皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック!



新入社員の紹介

ジェイアイエヌ本社に新しい社員が入社しました。
営業担当の井上です。

『今はまだ研修中ですが、
スタッフの皆さんに出会えること
を楽しみにしています。
どうぞよろしくお願いいたします。』



Jin co., LTD.



発行元

株式会社ジェイアイエヌ

〒677-0052 兵庫県西脇市和田町234-2

TEL:0795-22-8088 FAX:0795-22-8085